



なぜ弟子づくりが大切なのか？

イエス様は、キリストの体である教会に対して、行って弟子を作り、バプテスマを受け、イエス様のご命令を守るように教えなさい、という宣教命令をお与えになりました。

(マタイ 28 : 19, 20)。イエス様の働きにおいても、これがまさに行われていた事です。使徒達に、行く所どこでも弟子を作りながらお手本を示されてました。パウロはテモテにこう書きました。「私から聞いたことを、他の人にも教える力のある忠実な人

たちに委ねなさい。」(第二テモテ 2 : 2) このようにして、キリストのお働きの時代から現在に至るまで、弟子達が造られて来たのです。

すべてのクリスチャンは、キリストの弟子となるべきです。そして中には、イエス様がされたように、特別なメンターシップを持つために召されているでしょう。パウロがテモテやテトス、その他の者たちを「同じ信仰による真実のわが子」(テトス 1 : 4)と呼んでいる様にです。牧師や指導者、教師達は、いつも誰かのメンターであるべきではないでしょうか。また彼らにとっての「テモテ」を主が送って下さるように、そしていつかは成長して「パウロ」になっていくことを祈るべきではないでしょうか。聖霊は、愛と信仰、知識、知恵や良い行いも、神様が自身が選ばれる人々に与えて下さいます。そのような人々は「パウロ」になるように育てられ、準備されてきた人々は、この弟子づくりの過程を継承していきます。神様が自身が、ご栄光のために、実りを倍増して下さるのです(第一コリント 3 : 6)。

これはイエス様ご自身そして使徒達が、私達への見本となられた働きの形です。主の働きが進められるために、大宣教命令、そして実際どのように実行していくかを示して下さいました。もし私達が、イエス様が下さったご命令に背くなら、一般信徒の指導者や、賜物を与えられた教師達、また若い救われた魂も育てられることなく消えていくのです。教会も真理に無知となり、信仰と愛によって建てあげられず、御霊の実が生み出されることも困難となります。罪と不従順によっては、何もよい結果となりません。イエス様は、「わたしの戒めを保ち、それを守る人は、わたしを愛する人です。」(ヨハネ 14 : 21)とおっしゃりました。



マイケル・レイノルズ
セカンドレベル理事長

主の召しに答える

「実りは多いが、働き手が少ない。」(ルカ 10 : 2)。セカンドレベル・ミニストリーは、インターネットを用い、日本人クリスチャンの弟子訓練に焦点を当てて仕えています。聞くだけではなく、御言葉に従い、実践している(ヤコブ 1 : 22)熱心なセカンドレベルのスタッフとボランティア達への感謝の思いは尽きません。昨年は、スタッフが名古屋と神戸に移り、新しい環境で主に仕えています。(別紙報告参照)。

2012年を迎え、有能な理事達のリーダーシップ、総主事、アドバイザー、スタッフ達を通して、この働きを主が祝福して下さっていることに感謝でいっぱいです。

15のステップレッスンやその他のテキストを用い、実際に会ってや、またスカイプなどを通して、若いクリスチャン達がフォローアップされてきました。サイトのアクセスも増加しており、今年は新しいウェブサイトに取り替える予定です。

又、理事やスタッフが共に関わり合い、主にある同労者として仕える働きとして、セカンドレベル・ミニストリーは、JCFN(日本人クリスチャンフェローシップネットワーク)とも協力関係が続いています。過去2年間は、ロサンゼルスでもたれたJCFNによるカンファレンスでワークショップも提供させて頂きました。また、クリスチャンビジネスマンの働き、VIPとも関わりを持ったり、KGK(キリスト者学生会)の働きへも協力しています。

弟子訓練なしには、霊的な戦いに打ち勝つことは困難です(エペソ 6:10-17)。多くの救われたばかりの魂が、信仰から離れていきます。私達は、サタン攻撃に負けるのではなく、教会を建て上げる希望とともに、主への従順をもって、セカンドレベルの働きを用いていきたいと望んでいます。今後ともよろしくお願い致します。

弱い人々には、弱い者になりました。

弱い人々を獲得するためです。すべての人に、すべてのものとなりました。

それは、何とかして、幾人かでも救うためです。私はすべてのことを、福音のためにしています。

それは、私も福音の恵みとともに受ける者となるためなのです。

第一コリント 9:22-23



主の御名を褒め称えます。インターネットという世界において、弟子訓練や伝道という、神と人をつなぐ働きが実を結び始めている事実に大変な可能性と喜びを感じております。社会情勢や人々の心のつながり方に非常な変化が生じている昨今、ネットワークに快適さを覚え、慰めを求めてる魂があふれています。彼らとあらゆる想いを共有しながら、それでも粘り強く福音を提示し続けられるフィールドが、神の子らに与えられている事に感謝しています。人と人が顔を合わせ、触れあい、また育まれる人間の活動は、ビジネスの世界同様、福音の世界でも既に変わっています。

また、ソーシャルメディアを用いた新しい形のミニストリーは次世代に向けて欠かせない領域です。ソーシャルメディアとは、マスメディア(新聞、ラジオ、テレビ、雑誌)という一方向性の配信ではなく、インターネットを前提にした双方向型配信のことです。10年前ならば自分の意見や主張を世に問う場合、マスメディアを通すため莫大な費用がかかりました。しかし、ソーシャルメディアの登場により、もはや一方通行で情報を発信していくという時代は終わりました。

このソーシャルメディア・ネットワーク時代の中、現在、急激に伸びている動画サイトを通して、波勢邦生主事によって毎週「ニコ生神学部」と題した放送が行われています。スカイプによる個人への弟子訓練に加え、このようなソーシャルメディアをツールとして出会う人々に働きかけ、新時代の伝道と弟子訓練、教会形成を目指しています。セカンドレベル・ミニストリーの働きへの皆様の祈りと忍耐、またご理解こそが、大きな励ましです。ぜひ経済的支援のみならず様々な形で、神様が一人一人を通して為される働きを支えて下さいますように、深くお願い申し上げます。



藤原惣一

セカンドレベル・ミニストリー 理事

株式会社 GVP マネージメント代表取締役

理事 プロフィール：<http://www.secondlevel.org/page1102.aspx>

スタッフ プロフィール：<http://www.secondlevel.org/page1084.aspx>